

特別研修（共同）

研修名	人づくりセミナー	受講者の声	
		脚本家の仕事のやり方や、その過程で知った渋沢栄一氏の人物像など興味深い話が聴けて、自分のこれからの生き方や仕事への向き合い方について考えさせられる時間となった。（第1回） しっかりとした観察によるメンバーの特性の把握により得意なものをいかに伸ばしていくかなど非常にわかりやすくメリハリをつけて語っていただき、とても有意義な講演であった。（第2回）	
講 師	未定	実施日数・時間	1 日間
		手 法	未定
		会 場	未定
		市町村研修コード	401～402
ねらい	地方分権の担い手である職員一人ひとりが、幅広い視野と柔軟な発想を身に付け、より創造的かつ積極的に地方行政を展開できる人材となることを目指します。		
対象者	講演内容に関心のある職員		
実施日	未定		
予定人員	県２００人・市町村４００人（各回県１００人・市町村２００人）		
学 習 計 画			
日程	カリキュラム	時間数	内 容
		時 分	
1 日	未定		幅広い分野から有識者を招き、講演会形式により実施する予定です。
	（参考）令和４年度開催実績 第１回 大森 美香（脚本家、演出家） 「激動の時代を生き抜く力 ～『青天を衝け』の渋沢栄一を通して考える～」 第２回 山本 昌邦（サッカー解説者、アテネ五輪日本代表監督） 「個人の成長と成果を出す組織づくり ～サッカー日本代表に学ぶ～」		
特記事項	・ 全２回実施予定 ・ 詳細は、募集時の通知等を確認してください。		

特別研修（共同）

研修名	行政不服申立	受講生の声		
		行政法から入り一つ一つ丁寧に説明してくださったので、理解しやすかったです。実際の事例や課題から、実務において注意すべきことを提示されていたので、大変参考になりました。		
講 師	弁護士 立命館大学法学部 教授 田中 良弘	実施日数・時間	計 6 時間程度	
		手 法	動画研修	
		会 場	各所属ほか	
		市町村研修コード	403	
ねらい	行政不服審査法による不服申立ての仕組みと手続きの流れを学ぶとともに、個別的課題の処理について実務的な処理能力を養います。			
対象者	【県】職務に関係のある職員 【市町村】構成団体の長から推薦された職員			
実施日	研修生に別途通知			
予定人員	県 4 0 人・市町村 4 0 人			
学 習 計 画				
カリキュラム		動画時間数		内 容
		時	分	
行政法概論		6	00	・ 行政行為の種類、行政処分の効力
行政救済制度				・ 行政不服審査と行政事件訴訟の異同
行政不服審査制度の仕組み				・ 制度趣旨と法改正、不服申立ての要件
審査請求手続の流れ				・ 審査請求手続の流れ
審理員による審理手続				・ 審理手続の流れ
行政不服審査会				・ 審査会の性質、審査審議手続
裁決				・ 裁決の時期、種類、方式
再調査の請求				・ 再調査の請求ができる場合
再審査請求				・ 再審査請求と裁決
特記事項				

特別研修（共同）

研修名	行政研修B ～人事院公務員研修所との共同研修～	実施日数・時間		未定
		手 法		未定
		会 場		人事院公務員研修所（入間市）ほか
		市町村研修コード		404
ねらい	埼玉県の主幹級職員・県内市町村の課長補佐級職員と国家公務員（総合職）の課長補佐級職員が、与えられたテーマについて異なる立場から発表・討議を行うことで、大局的な視野の習得とともに、人脈の拡大を目指します。			
対象者	【県】任命権者から推薦された主幹級職員 【市町村】構成団体の長から推薦された課長補佐級職員			
実施日	未定			
予定人員	2人（県1人・市町村1人）			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
	未定			
		人事院公務員研修所で行われている行政研修（課長補佐級）に県職員及び市町村職員として参加します。 （参考）令和4年度開催実績 令和4年10月26日（水）～28日（金）（3日間） ※Cisco Webex Meetings によるオンラインで実施		
特記事項	・ 詳細は、後日送付する実施通知により確認してください。 ・ 研修修了報告書があります。			

特別研修（共同）

研修名	ハードクレーム対応研修	実施日数・時間		計 3 時間程度
		手 法		動画研修
		会 場		各所属ほか
		市町村研修コード		405
ねらい	ハードクレームに対する適切な対処法を習得するとともに、組織対応の重要性について学びます。			
対象者	【県】主幹・副課長級の職員（各所属につき 1 人・未受講者優先） 【市町村】課長補佐級以上の職員			
実施日	研修生に別途通知			
予定人員	県 3 0 0 人・市町村 6 0 人			
学 習 計 画				
カリキュラム		動画時間数		内 容
		時	分	
ハードクレーム対応研修 （講師：熊川次男総合法律事務所 弁護士 熊川 俊充 ^{くまかわ としみつ} ）		3	00	
・クレーム対応の流れ				・ 初期段階と交渉段階の峻別
・クレーム対応総論				・ 法的な観点から
・クレームの初期段階 （相手の怒りを静める）				・ お礼&お詫び ・ マザリング
・クレームの初期段階 （材料、証拠集め）				・ 相手の情報の特定方法 ・ 申し出の内容の特定方法
・クレームの交渉段階				・ 具体的な交渉方法（複数対応、録音等）
・通常のクレーマーと悪質クレーマー				・ 内容と手段で区別
・悪質クレーマーへの対処方法				・ 交渉するという発想を捨てる ・ 時間を区切る ・ 日の当たるところに引っ張り出す
・事例検討				
特記事項				

特別研修（共同）

研修名	育児休業等支援研修	受講者の声		
		育児休業からの復帰直後で自己肯定感が下がっているところでしたが、今だけを見ず、焦らずに、今できることをできる範囲で頑張ろうと思えました。		
講 師	筑波大学 公認心理師 中井 貴美子ほか	実施日数・時間	＜オンライン＞ 1日間 ＜動 画＞計 2 時間 3 0 分程度	
		手 法	オンライン研修・動画研修	
		会 場	各所属ほか	
		市町村研修コード	406～407	
ねらい	育児休業を取得する職員等に対し、今後の新たな働き方に備えたキャリア形成の考え方やメンタルヘルス等の必要な知識・スキルの習得を通じて、円滑な職場復帰を支援します。			
対象者	次のいずれかに該当する職員 ・研修実施日以前 8 か月の間に育児休業から復帰した職員 ・育児休業中及び育児休業を検討している職員等			
実施日	＜オンライン研修＞ ① 6/22（木） ② 11/24（金） ＜動 画 研 修＞ 研修生に別途通知			
予定人員	県 6 0 人・市町村 1 0 人（各回 県 3 0 人・市町村 5 人）			
学 習 計 画				
＜ オ ン ラ イ ン 研 修 ＞				
日程	カリキュラム	時 間 数		内 容
		時	分	
1 日 10:00 ～ 15:15	先輩からのメッセージ （講師：埼玉県職員）	2	00	育児休業を経験した先輩職員の経験談や研修生同士の意見交換を通して、良きネットワークを作るとともに、今後のより良い働き方などについて考えます。
	メンタルヘルス （講師：筑波大学 公認心理師 中井 貴美子）	2	00	気軽に取り入れられる「セルフコントロール」のための思考法や「ストレスコントロール」の具体的方法を学ぶことで、心身を健康に保ち、物事に前向きに取り組む力を高めます。 （主な項目） ・ストレス症状の表れ方 ・ストレス解消法と考え方のコツ （自律訓練法、認知療法）
＜ 動 画 研 修 ＞				
カリキュラム		動画時間数		内 容
		時	分	
キャリアデザイン （講師：国家資格キャリアコンサルタント／さいたま市職員 島田 正樹）		2	00	育児中の職員が、公私ともに充実するために必要な主体的なキャリア観について学びます。 （主な項目） ・仕事と育児を通したキャリアの形成について考える ・自分らしさを大切にする業務・人間関係の捉え方
子育て支援に関する制度説明 （講師：埼玉県人事課職員） ※県職員のみ対象		0	25	県人事課から仕事と子育ての両立を支援するための制度等について説明します。

特記事項

・オンライン研修の実施日は託児があります（育児休業中等の職員対象）。

特別研修（共同）

研修名	法制執務	受講者の声		
		法制執務初心者の私にも丁寧で非常に分かりやすい講義で、法令の読み方はもちろん演習を通して理解を深めることができました。今後どのような業務に就いても役立つ知識が身につく有意義な研修でした。		
講 師	第一法規（株） つむら まさのり 津村 正統	実施日数・時間	2日間	
		手 法	オンライン研修	
		会 場	各所属ほか	
		市町村研修コード	408	
ねらい	法制執務の初学者を対象として、基礎となる法的知識を学び、法の適正な解釈運用と法の制定や改正に必要な基本的な技法を身に付け、「法令を読む力」、「法令を改正する力」を養います。			
対象者	次のいずれかに該当する職員 ・初めて法制執務に携わる職員 ・法制執務に関心のある職員			
実施日	9/4(月)・9/5(火)			
予定人員	県１０人・市町村４０人			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	法制執務について 法の仕組み 条例・規則の立案方式 演習	6	30	・総説 ・立法政策 ・立法技術 ・法体系 ・法形式 条例と規則、告示及び訓令 ・総説 方式の根拠・種類 ・新制定の方式 公布文・条例番号・題名・前文及び制定文・目次・本則・附則・別表等 ・立案要領 総則的規定・実体的規定・雑則的規定・罰則規定 ・法の読み方
2日 9:00 ～ 16:30	一部改正の方式 全部改正及び廃止の方式 演習	6	30	・総説 ・基本形式 ・公布文、条例番号及び題名 ・本則 ・条例の一部改正
特記事項	・事前課題があります。			

特別研修（共同）

研修名	防災を学ぶ	おすすめポイント	
		東日本大震災により被害を受けた石巻市立旧大川小学校の現在の様子を元に、当時の津波の様子・児童の避難経路・教員の意思決定などを解説し、防災に取り組む姿勢・行政職員としてあるべき姿について学びます。	
講 師	一般社団法人 Smart Supply Vision 佐藤 敏郎ほか	実施日数・時間	3時間30分程度
		手 法	動画研修
		会 場	各所属ほか
		市町村研修コード	409
ねらい	災害に対する備えの必要性、発災時の人間の心理状態や被害を防ぐための教訓について、被災者の経験談等から学び、日々の生活における防災意識を向上させます。		
対象者	防災について関心のある職員		
実施日	研修生に別途通知		
予定人員	県60人・市町村60人		
学 習 計 画			
カリキュラム		動画時間数	内 容
		時 分	
3.11を学びに変える (講師：一般社団法人Smart Supply Vision 佐藤 敏郎)		2 30	・石巻市立旧大川小学校の現在の様子と当時起こった出来事 ・防災に取り組む姿勢、発災する前に備えておく必要性 ・災害が発生した際の意思決定のあり方 ・被災した経験から得られた教訓や知見
埼玉県の防災体制 (講師：埼玉県職員)		1 00	・埼玉県の防災体制 ・自治体職員としての危機対応
特記事項			

特別研修（共同）

研修名	女性職員のための キャリアデザイン (主任級)	受講者の声		
		キャリアデザインは人それぞれであり、それぞれの ライフプランのなかで考えていっていいのだと少し 気持ちが楽になりました。 また今後長く仕事をしていく上での心持ちでも参 考になる部分があり、有意義な研修でした。		
講 師	一般社団法人 日本経営協会 みずの じゅんこ 水野 順子ほか	実施日数・時間	3日間	
		手 法	通所研修	
		会 場	自治人材開発センター	
		市町村研修コード	410	
ねらい	主任級女性職員が自身のキャリアを改めて考えるとともに、組織における役割について認識を深めます。また、組織で必要とされるコミュニケーション能力等を高めます。			
対象者	【県】 任命権者から推薦された主任級の女性職員 【市町村】 主任級の女性職員			
実施日	7/20(木)・7/21(金)・12/11(月)			
予定人員	県 1 5 人・市町村 1 5 人			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1 日 9:00 ～ 16:30	アイスブレイク キャリアデザインとはなにか 社会環境の変化とこれからの働き方 これまでのキャリアを振り返る 現在のキャリアを考える	6	30	・ 自己紹介及び研修目的と目標理解 ・ キャリアデザインの定義と必要性 ・ キャリアデザインで行うこと ・ 自治体職員を取り巻く環境変化、女性の雇用 状況を知り、女性活躍・ダイバーシティの時 代の働き方を考える ・ これからの「職場」について考える ・ これまでのキャリアを振り返り、自身の強み と可能性を確認する ・ 周囲が自分に求めていることを再確認する ・ 今後必要とする能力・課題を認識する ・ 働く上で大切な価値観（キャリアアンカー） ・ 変化に対応するための力を養う（計画的偶発 性理論等）
2 日 9:00 ～ 16:30	アイスブレイク キャリア意識の向上 先輩職員にインタビューしてみよう これからのキャリアをデザイン する	6	30	・ 1 日目の振り返り ・ 自治体を超えた女性職員の連携でチャレンジ したい企画を検討する ・ 先輩職員からのメッセージとインタビュー ・ 質疑応答タイム（パネルディスカッション） ・ 統合的人生設計 ・ 主任級職員としての役割とは ・ これからのありたい姿を考える ・ アクションプランの設定

3日 9:00 ～ 16:30	アイスブレイク 基調講演 「これからの働き方と男性学」 (講師：大妻女子大学 准教授 田中 俊之^{たなか としゆき}) 基調講演の振り返り 先輩職員からのメッセージ(パネルディスカッション) ワールドカフェ アクションプラン作成、まとめ	6 30	・自己紹介と現状共有 「男性学」を切り口に、働き方に関する男女差について見識を深め、これからの働き方を考えるとともに、視野の拡大を図ります。 ・基調講演を聞いて ・女性職員の働く悩み共有 ・先輩職員に聞いてみたいこと ・先輩職員の経験やキャリアの向き合い方を知る ・先輩職員によるパネルディスカッション ・質疑応答 ・テーマに基づいてワールドカフェ ・アクションプラン作成、まとめ、質疑応答
特記事項	・事前課題があります。		

特別研修（共同）

研修名	女性職員のための キャリアデザイン (主査・主幹級)		受講者の声	
			講義を受けて、考え方や心構えを変えることができ 前向きになりました。先輩職員とのディスカッション では貴重な体験談を聞くことがき、適切なアドバイ をいただいたので有意義な対談となりました。男性学 の講義内容も興味深く、部下との関わり方や社会全体 として考えていくべき課題を感じました。	
			実施日数・時間	3日間
			手 法	通所研修
			会 場	自治人材開発センター
講 師	一般社団法人 日本経営協会 みずの じゅんこ 水野 順子ほか	市町村研修コード	411	
ねらい	主査・主幹級の女性職員が組織における役割について認識を深め、組織を担うために必 要なマネジメント能力を高めます。また、自らの可能性や強みを把握し、更なるキャリア アップへの意欲を高めます。			
対象者	【県】任命権者から推薦された主査・主幹級の職に昇任後 1 年以上経過している女性職員 【市町村】主査・係長級、主幹級の女性職員			
実施日	9/7(木)・9/8(金)・12/14(木)			
予定人員	県 15 人・市町村 40 人			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1 日 9:00 ～ 16:30	アイスブレイク キャリアデザインとはなにか 社会環境の変化とこれからの働 き方 これまでのキャリアを振り返る 現在のキャリアを考える	6	30	・自己紹介及び研修目的と目標理解 ・キャリアデザインの定義と必要性 ・キャリアデザインで行うこと ・自治体職員を取り巻く環境変化、女性の雇用 状況を知り、女性活躍・ダイバーシティの時 代の働き方を考える ・これからの「職場」について考える ・これまでのキャリアを振り返り、自身の強み と可能性を確認する ・周囲が自分に求めていることの再確認 ・今後必要とする能力・課題を認識する ・働く上で大切な価値観（キャリアアンカー） ・変化に対応するための力を養う（計画的偶発 性理論等）

2日 9:00 ～ 16:30	アイスブレイク リーダーシップ力向上 先輩職員にインタビューしてみよう これからのキャリアをデザインする	6	30	・1日目の振り返り ・今、求められるリーダーシップを学ぶ ・自身のリーダーシップスタイルを考察する ・部下からの相談対応ケーススタディ ・先輩職員からのメッセージとインタビュー ・質疑応答タイム（パネルディスカッション） ・統合的人生設計 ・主査・主幹級職員としての役割とは ・これからのありたい姿を考える ・アクションプランの設定
3日 9:00 ～ 16:30	アイスブレイク 基調講演 「これからの働き方と男性学」 （講師：大妻女子大学 准教授 田中 俊之^{としゆき} 基調講演の振り返り 先輩職員からのメッセージ（パネルディスカッション） ワールドカフェ アクションプラン作成、まとめ	6	30	・自己紹介と現状共有 「男性学」を切り口に、働き方に関する男女差について見識を深め、これからの働き方を考えるとともに、視野の拡大を図ります。 ・基調講演を聞いて ・女性職員の働く悩み共有 ・先輩職員に聞いてみたいこと ・先輩職員の経験やキャリアの向き合い方を知る ・先輩職員によるパネルディスカッション ・質疑応答 ・テーマに基づいてワールドカフェ ・アクションプラン作成、まとめ、質疑応答
特記事項	・事前課題があります。			

特別研修（共同）

研修名	シニア職員研修 ～60歳以降も元気に輝き、 働くために～	実施日数・時間		未定
		手 法		動画研修
		会 場		各所属ほか
		市町村研修コード		412
ねらい	シニア世代の職員が60歳以降も組織の中で引き続き活躍するため、周囲と良好な関係を築き、自ら有する知識・経験、能力を役立てながら、新たな目標を立てて意欲的に学ぶ心構えなどを学びます。			
対象者	令和5年4月1日現在満59歳で、令和6年度に定年引上げにより引き続き勤務する予定の職員及び令和6年度に定年前再任用短時間勤務又は暫定再任用を希望する職員（新規任用予定者に限る）			
実施日	研修生に別途通知（10月～2月を予定）			
予定人員	未定			
学 習 計 画				
カリキュラム		動画時間数		内 容
		時	分	
60歳以降も元気に輝き、働くために （仮） （講師：一般社団法人 日本経営協会 てしま のぶお 手島 伸夫）		—	—	・自分の強みと楽しみの再確認 ・シニア職員を取り巻く変化とチャレンジ ・シニア職員に求められる役割 ・経験を生かして困難業務を解決する ・活躍事例（即戦力、知見伝承、業務改善） ・求められるコミュニケーション方法の変革 ・夢も語り続けよう！ 輝く人生を
業務に必要なITスキル ※県職員のみ対象		—	—	・エクセル2019 ・ワード2019 ・DocuWorks ・Zoom ・グループウェア操作 ※「エクセル2019」以外の項目はテキストのみの研修となります。
現役再任用職員による体験談 （講師：埼玉県 再任用職員） ※県職員のうち、希望者のみ対象		—	—	・再任用職員としての勤務経験
特記事項	・県職員と市町村職員では、受講する科目が異なります。			

特別研修（共同）

研修名	D X 推進研修 ～自治体D Xへの基礎を築く～	おすすめポイント		
		自治体D Xを進める上で必要不可欠なマインドを学びながら、D Xの本質を捉え、D Xに関する基礎を学習することができます。		
講 師	株式会社Public dots & Company すがわら 直敏 菅原 直敏 やまぐち つとむ 山口 勉	実施日数・時間	1 日間	
		手 法	オンライン研修	
		会 場	各所属ほか	
		市町村研修コード	413～414	
ねらい	ライフスタイル・人口構造等の変化に柔軟に対応し、よりよい住民サービスを提供することを目的としたD X（デジタルトランスフォーメーション）推進のため、自治体に求められる対応や先進事例からD Xの基礎や手法等を学びます。			
対象者	次のいずれかに該当する職員 ・ D X 推進の職務に関係のある職員 ・ D X 推進に関心のある職員			
実施日	① 10/10(火) ② 10/11(水)			
予定人員	県80人・市町村40人（各回 県40人・市20人）			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1 日 13:00 ～ 17:00	自治体D Xとは？ 自治体D Xを進める必要性 自治体D Xを進めるために 自治体D Xの課題 D X Q & A	4	00	・自治体D Xに関する時代背景 ・D Xの定義 ・I C T化とD Xの違い ・今までの自治体経営 ・自治体が進めるD Xの事例の紹介 ・自治体D Xを進めるために必要なこと ・デジタル技術の一般化による変化 ・デジタル技術の一般化の3要素 ・既存の自治体ではできなかったこと ・先進事例の紹介 ・事前課題へのフィードバック ・質疑応答
特記事項	・事前課題があります。 ・詳細は、実施要領等を確認してください。			

特別研修（共同）

研修名	自治体DXのための AI・RPA活用研修		受講者の声	
			AI や RPA とは何かという初歩から説明していただき、言葉を聞いたことがあるという段階でも当事者意識をもって講義を受講できた。また、先行の導入事例や応用方法まで解説していただき、教科書的ではなく現実的な導入の方法をイメージすることができた。	
講 師	一般社団法人 行政情報システム研究所 かのう 英司ほか	実施日数・時間	2日間	
		手 法	オンライン研修	
		会 場	各所属ほか	
		市町村研修コード	415～416	
ねらい	AI・RPAに関する知識、活用事例等を学び、業務の効率化や住民サービス向上につなげるための活用方法を身に付けます。			
対象者	AI・RPAについて関心のある職員			
実施日	① 8/17(木)・8/18(金) ② 8/28(月)・8/29(火)			
予定人員	県90人・市町村30人（各回 県45人・市町村15人）			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日 9:00 ～ 16:30	DX、AI、RPAの基礎知識 業務改革と業務改善 業務見える化グループワーク AI・RPA動作実演 先行事例紹介・質疑応答① （講師：自治体職員） 関連トピックス	6	30	・DX、AI、RPAの基礎知識について学ぶ。 ・RPA導入の前提となる業務改革や業務フローの作成の基礎知識を、実習を通じて学ぶ。 ・業務フローの特徴や作成方法について学ぶ。 ・AI、RPAの動作について学ぶ。 ・RPA導入の担当者から、現場での苦労や課題解決の方法などを学ぶ。 ・DX推進のための思考や方法を学ぶ。
2日 9:00 ～ 16:30	ビッグデータとAI デザイン思考とAI AIの導入パターンと事例 先行事例紹介・質疑応答② （講師：自治体職員） 埼玉県施策・事例紹介 （講師：埼玉県職員） 人と組織の改革	6	30	・ビッグデータの基礎知識と活用事例を学ぶ。 ・デザイン思考の基礎知識と活用事例を学ぶ。 ・AIの導入事例と導入の際の注意点を学ぶ。 ・AI導入の担当者から、現場での苦労や課題解決の方法などを学ぶ。 ・埼玉県及び県内市町村でのAI・RPA活用に向けた施策と事例を学ぶ。 ・DX人材とDXが推進される組織作りについて学ぶ。
特記事項	・事前課題があります。			

特別研修（共同）

研修名	D X時代の広報戦略	おすすめポイント	
		D Xが進む中で、広報活動についても新たな手法による情報発信が求められています。 この研修では、広報の戦略的な実施方法などを学び、情報発信に用いる多様なツールの特徴とその効果的な使い方を習得することを目指します。	
講 師	(株) 情報文化総合研究所 さとう よしひろ 佐藤 佳弘	実施日数・時間	1 日間
		手 法	オンライン研修
		会 場	各所属ほか
		市町村研修コード	417
ねらい	D X時代の広報に必要な視点を学び、多様化する情報発信の手法や広報業務の効果検証とリスク管理を体系的に習得することで、広報を戦略的に実施する手法を身に付けます。		
対象者	次のいずれかに該当する職員 ・ 広報業務に携わる職員 ・ 広報業務に関心のある職員		
実施日	7/19(水)		
予定人員	県 4 0 人・市町村 4 0 人		
学 習 計 画			
日程	カリキュラム	時間数	内 容
		時 分	
1 日 9:00 ～ 16:30	D X時代の自治体広報 パブリシティ(ネットメディアリレーション) 戦略的広報 ソーシャルメディアの活用 動画の活用 広報のリスク管理	6 30	・ 自治体広報の現状と課題 ・ 広報の成功例 ・ ネットメディアが重視するポイントとは ・ 人を動かす広報とは ・ 自治体広報の発信内容 ・ 広報活動の効果検証 ・ ソーシャルメディアの状況 ・ 最適なメディア選択 ・ フォロワーの増やし方 ・ 自治体PR動画の現状 ・ 失敗しない動画広報 ・ 動画編集の仕方 ・ 広報のリスク ・ トラブルの未然防止対策
特記事項	・ 事前課題があります。		

特別研修（共同）

研修名	I C T ツール利活用研修	おすすめポイント		
		自治体で I C T ツールを導入して D X 推進に大きく貢献した講師の経験をもとに、I C T ツールの活用によって自治体業務がどのように進化するか、具体例や先進事例を通して学ぶことができます。		
講 師	合同会社 K U コンサルティング 代表社員 高橋 邦夫	実施日数・時間	計 2 時間程度	
		手 法	動画研修	
		会 場	各所属ほか	
		市町村研修コード	418	
ねらい	「仕事のあり方、やり方」を変えて業務の効率化や住民サービス向上につなげるため、I C T ツールを効果的に導入する考え方やその活用事例、活用方法を学びます。			
対象者	I C T ツールの活用に関心のある職員			
実施日	研修生に別途通知			
予定人員	県 1 0 0 人・市町村 1 0 0 人			
学 習 計 画				
カリキュラム		動画時間数		内 容
		時	分	
「できない」を「できる」に変える I C T ツールの活用 I C T ツールとはなにか 自治体での導入事例から学ぶ I C T ツールはトランスフォーメーション達成のツール 自治体 D X で実現する住民満足度向上		2	00	- 自治体 D X と I C T 導入はなにが違うのか - 業務システムと I C T ツールの違い - 個別最適と全体最適 - I C T ツールは道具であって完成品ではない 「全体最適」を実現する I C T ツール導入事例 - ツール導入を目的にしてはいけない - 導入した I C T ツールを使いこなす、使い倒す - I C T ツール導入に必要な視点 - 住民は自治体になにを求めているのか - 満足度向上の鍵は「住民が参加できること」
特記事項				

特別研修（共同）

研修名	テーマ別政策形成演習 ～「子供の貧困」のない 社会を目指して～	おすすめポイント		
		担当者になったときにそのまま使える政策形成のポイントを学びます。さらに、「現場の声を聴く」ことを実践した上で、課題の本質を捉える事業分析手法を用いて政策形成を行います。		
講 師	(株) プ ブ リ ク ス Publicus かなざわ かずゆき 金澤 一行	実施日数・時間	3日間	
		手 法	通所研修	
		会 場	自治人材開発センターほか	
		市町村研修コード	419	
ねらい	行政を取り巻く諸課題の中から特定のテーマを設定し、課題解決に向けて政策形成の演習を行います（※）。統計資料や課題の背景等に基づき仮説を立て、現場の視察や関係者へのヒアリングを通して得た情報を仮説に反映させ政策を立案するプロセスを学ぶことで、課題の本質を捉えた政策形成能力を向上させます。 ※ 令和5年度は「子供の貧困」をテーマとします。			
対象者	政策形成に興味のある職員			
実施日	7/25(火)・9/4(月)・9/5(火)			
予定人員	県10人・市町村10人			
学 習 計 画				
日程	カリキュラム	時間数		内 容
		時	分	
1日目 9:00 ～ 16:30	公共政策論概説 課題調査のためのヒアリング技法・課題整理の方法 現状のインプット 調査仮説作り演習	6	30	- 行政と民間の施策づくりの違い - 行政に求められる政策形成のプロセス - 公平性・公正性・透明性 - アンケートとヒアリングの違い - 回答者が理解しているケースと、聞かれても答えを持っていないケースの差異 - 聞き出すためのテクニック - カスタマージャーニーマップの書き方 - アポイントメントの方法 - 当該政策の担当者による子供の貧困に関する現状と政策の解説 - 統計等による定量的状況の確認 - 現行の制度の調査 - 知りたい情報のリスト化とアポ先の検討
2日目 9:00 ～ 16:30	現場ヒアリング 情報の整理と課題の構造化	6	30	- 現場視察及び関係者へのヒアリングを実施 - ロジックツリーの書き方 - ヒアリング内容を踏まえたロジックツリーによる課題整理

3日目 9:00 ～ 16:30	政策形成ワーク 発表・講評	630	・課題の因果関係の分析 ・現状の施策と課題のギャップ整理 ・課題解決に資する要因の分析 ・実施主体の検討 下記の視点での評価を行う ・課題の整理・体系化の精度 ・意思決定のメカニズムの解明の精度 ・実効性の評価 ・公平性・公正性の説明の納得性
特記事項	・2日目にさいたま市近郊で現地調査・ヒアリングを行います（交通費は各所属負担）。 行き先により開始時間及び終了時間が他の日と異なる可能性がありますのでご注意ください。		